

終末の主

シリーズ～終末を生きる～

2018/6/17

わたしはまた、玉座と四つの生き物の間、長老たちの間に、屠られたような小羊が立っているのを見た。小羊には七つの角と七つの目があった。この七つの目は、全地に遣わされている神の七つの霊である。小羊は進み出て、玉座に座っておられる方の右の手から、巻物を受け取った。巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、豎琴と、香のいっぱい入った金の鉢とを手に持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖なる者たちの祈りである。そして、彼らは新しい歌をうたった。「あなたは、巻物を受け取り、その封印を開くのにふさわしい方です。あなたは、屠られて、あらゆる種族と言葉の違う民、あらゆる民族と国民の中から、御自分の血で、神のために人々を贖われ、彼らをわたしたちの神に仕える王、また、祭司となさったからです。彼らは地上を統治します。」

また、わたしは見た。そして、玉座と生き物と長老たちとの周りに、多くの天使の声を聞いた。その数は万の数万倍、千の数千倍であった。天使たちは大声でこう言った。「**屠られた**小羊は、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光、そして賛美を受けるにふさわしい方です。」

また、わたしは、天と地と地の下と海にいるすべての被造物、そして、そこにいるあらゆるものがこう言うのを聞いた。「玉座に座っておられる方と小羊とに、賛美、誉れ、栄光、そして権力が、世々限りなくありますように。」四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝した。

天上の風景(4章から)

- ◆ 玉座に座っておられる方
 - ◆ 父なる神
- ◆ 4つの不思議な生き物
 - ◆ 「昼も夜も絶え間なく」賛美している
- ◆ 24人の長老
 - ◆ 主に仕える人の代表

封印された巻物

- ◆ 父なる神の右の手に「巻物」が握られていた
 - ◆ 終末の出来事について記されている
- ◆ 七つの封印で閉じられている
 - ◆ 資格がなければ開けられない
 - ◆ 終末を開始する権限は特別な人にある
- ◆ 天使の呼びかけ
 - ◆ 「封印を解いて、この巻物を開くのにふさわしい者はだれか」
- ◆ 誰も見当たらない
 - ◆ ヨハネ、激しく泣く



現れた小羊

- ◆ 一人の長老が口を開く
 - ◆ 「泣くな。見よ。ユダ族から出た獅子、ダビデのひこばえ(子孫)が勝利を得たので、七つの封印を開いて、その巻物を開くことができる。」
 - ◆ ユダ族出身であり、ダビデの子孫でもあるイエス・キリストは、罪と死に勝利された
- ◆ 「屠られたような小羊」
 - ◆ 小羊の姿なのか、人の姿をした“小羊”と呼ばれる方なのか? (「小羊」は黙示録に35回)
 - ◆ その手足に十字架の跡がある
 - ◆ 「七つの角と七つの目」がある: 威厳と全知の象徴

小羊に対する礼拝

- ◆ 小羊が巻物を受け取る
 - ◆ いよいよ終末が始まる
- ◆ 四つの生き物と24人の長老が礼拝する
 - ◆ 「聖なる者たちの祈りである」香をもって
 - ◆ 私たちの祈りは主を喜ばせる香りの供え物である
- ◆ 生き物と長老たちの賛美
 - ◆ 「あなたは、巻物を受け取り、その封印を開くのにふさわしい方です。あなたは、**屠られて**、あらゆる種族と言葉の違う民、あらゆる民族と国民の中から、**御自分の血で、神のために人々を贖われ**、彼らをわたしたちの神に仕える王、また、祭司となさったからです。彼らは地上を統治します。」

小羊は封印を開く資格がある

- ◆ 「屠られた」
 - ◆ 罪を贖う小羊として十字架で死なれた
- ◆ 「御自分の血で、神のために人々を贖われ」
 - ◆ 罪のゆえに滅びるしかなかった私たちを、ご自分の命とひきかえに救い出して下さった!
- ◆ 「彼らをわたしたちの神に仕える王、また、祭司となさった」
 - ◆ 地上を治め、神に仕えるものとされた
- ◆ キリストの十字架は終末の条件である
 - ◆ 贖いの御業がなければ、救われる人はおらず、終末は万物が消滅するだけになってしまう

小羊に対するさらなる礼拝

- ◆ 数えきれないほどの天使たちによる礼拝
 - ◆ 天使たちは大声でこう言った。「屠られた小羊は、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光、そして賛美を受けるにふさわしい方です。」
- ◆ すべての被造物の礼拝
 - ◆ あらゆるものがこう言うのを聞いた。「玉座に座っておられる方と小羊とに、賛美、誉れ、栄光、そして権力が、世々限りなくありますように。」
- ◆ 四つの生き物と長老たちによるアーメン
 - ◆ 「四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝した。」

終末の主、イエス・キリスト

- ◆ **キリストの贖いが終末の条件である**
 - ◆ キリストの贖いがなければ誰も救われない
 - ◆ 十字架があったから終末の患難によって悔い改める者に救いが与えられる
- ◆ **終末はキリストを賛美する出来事となる**
 - ◆ キリストの“ありがたさ”が全人類に知れ渡る
 - ◆ 「見よ、あらゆる国民、種族、民族、言葉の違う民の中から集まった、だれにも数えきれないほどの大群衆が、白い衣を身に着け、手になつめやしの枝を持ち、玉座の前と小羊の前に立って、大声でこう叫んだ。『救いは、玉座に座っておられるわたしたちの神と、小羊とのものである。』」7:9-10